令和6年度　学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会

令和6年　7月22日（月）八戸市立長者中学校　　受講者22名
令和6年11月28日（木）大鰐町立大鰐中学校　　受講者36名

1　内容

【テーマ】講義「地域の教育力によるキャリア教育の充実」
　　演習「キャリア教育の実際から学ぶ～働く人と生徒との対話集会～」

【講　師】　認定NPO法人ハーベスト　代表理事　山﨑（やまざき）　賢治（けんじ）　氏

【経　歴】

2007年から「せんだい・みやぎオータムセミナー」や「中学・高校キャリアセミナー事業」に取り組み、2009年にＮＰＯ法人ハーベストを設立。2014年からは代表理事に就任し、2018年には、認定ＮＰＯ法人として認定されいる。これまで、「計画的偶発性理論」に基づき人との「出会い」を通じた学びを拡げる「キャリアセミナー」や「トークフォークダンス」等の中高生と大人の対話の場作りに注力し、地域の協力を得ながらキャリア教育に関する取り組みを行ってきた。また、ハーベストの設立の理念は「主体性を育むこと」であり、設立以来、この「主体性とは何か」ということ、「どうしたら主体性を育むことができるのか」ということを活動のテーマとしている。

【講義要旨】

〇キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すもの。
〇キャリア教育研修会を通して育てる基礎的・汎用的能力は、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」である。
〇偶然の出会いがキャリアを創る。必要なのは、他者との出会い、対話を通じた自分自身への気付きとその探求である。そのために、計画的偶然性というキャリア論をもとに、中高生ができるだけ多くの人と対話や読書を重ね、自分の主体（ほっておけないもの）が立ち上がってくるきっかけをつくるのがキャリアセミナーのプログラムである。

2　受講者の感想

・日常的に生徒が接する大人は、親か先生であり、将来についての視野の拡大やビジョンを描くためにも、地域のたくさんの大人と出会うことはとても重要だと感じました。
・地域の力を教育へ活用することと、対話の重要性について、実例も交えたお話で大変参考になりました。
・職場体験だと1つの仕事を体験することが主となってしまうけれども、対話集会だと「職業を知る」だけでなく、「職業人を知る」ことになると思いました。しかも、地域に住んでいるたくさんの職業人の話を聞くことができ、とてもいいなと感じました。